



2020年度事業報告

公益財団法人 名古屋YWCA

名古屋市中区新栄町2丁目3番地

TEL:(052)961-7707 FAX:(052)961-7719

E-mail:office@nagoya-ywca.or.jp

目次

* 2020年度をふりかえって	1
* 名古屋YWCA事業の目的と概要、基本方針	2
I 女性及び青少年のリーダーシップを育成する事業	3
ボランティア事業	
1. 平和・人権・国際・環境等社会の課題についての学習及び普及啓発と人材養成事業	
2. 社会的に弱い立場におかれた人への支援事業	
3. 子どもや青少年の健全な心身の育成に資する事業	
4. ボランティア養成事業	
5. バザーを考える会	
6. その他	
II 個別相談等を通じて女性を支援する事業	9
女性のための相談・支援事業	
III 諸外国の言語及び文化を学習する機会を提供する事業	11
1. 語学・教育事業	
2. 個別に配慮が必要な子どもを支援する事業	
IV 日本語教師を養成する事業	12
1. 日本語教師養成事業	
2. 日本に住む外国人の子どもを支援する事業	
3. 日本に住む外国人生活者を支援する事業	
V 日本語学校を運営する事業	15
日本語学校事業	
VI 不動産賃貸等事業	17
不動産賃貸事業	
VII その他この法人の目的を達するために必要な事業	17
■世界YWCA・日本YWCA他	
■事業の目的を達成するために以下の機関を置く	
評議員会 理事会 人事委員会 広報・新聞委員会	
会館管理委員会 コンプライアンス委員会	
* 公益財団法人名古屋YWCA組織図	27
* 貸借対照表	28
* 正味財産増減計算書	29

2020年度をふりかえって

21世紀最大の健康危機とされる COVID-19 は 2020 年度も世界各地で猛威をふるいました。ウィルスは変異し、グローバル化した人と物の流れに乗って瞬時に世界に広まっていきます。ウィルスの抑え込みには民主主義を犠牲にした国家権力の発動が有効にも見えます。ミャンマーではその国家権力による暴力が民衆を苦しめています。

一方で、この 3 月 11 日には東日本大震災 10 年目の節目を迎え、全国の YWCA 会員と共に、原発事故を風化させない気持ちを新たにしました。その矢先に「40 年越え国内原発再稼働へ」という報道に接し、政府の掲げる SDGs はグリーンウォッシュにすぎないのではないかと疑義を持たざるを得ませんでした。気候変動も COVID-19 も経済成長主義の矛盾が顕在化したものです。持続可能性と社会的平等は密接に関係し、経済成長とは相容れないのです。COVID-19 の下では、富の偏在と、社会の周辺に追いやられ、困窮し、差別や暴力に苦しむ女性や外国人の存在が顕在化しています。

名古屋 YWCA も 4 月には休業の事態に見舞われました。予定していた活動が次々と中止、延期になり、かつてない厳しい事態となりましたが、会員を始め皆様から寄せられた寄付で日本語学校生、外国人の子ども、カウンセリングを希望する女性を支援できたことは大きな喜びでした。

2020 年度も以下のように、5 つの公益事業と 1 つの収益事業を行いました。

- I 「女性及び青少年のリーダーシップを育成する事業」 グループ活動では、スープキッチン（路上生活者への配食）など必要性が高い活動を継続しました。多くのプログラムが中止される中、ユースによる沖縄スタディツアーを開催しました。平和国際部会では SNS 上で「平和文庫」（平和に関する本紹介）を行いました。
- II 「個別相談等を通じて女性を支援する事業」 カウンセリングや講座をオンライン化するなど、工夫して継続しました。地域からの外部委託事業を行いました。
- III 「諸外国の言語及び文化を学習する機会を提供する事業」 一期は休業し、対面授業再開後は感染状況に対応し、オンラインでの授業も行いました。発達障害がいの子どものための支援者養成講座にも取り組みました。
- IV 「日本語教師を養成する事業」 オンラインと対面受講を組み合わせで行いました。外国人の子ども学習支援は、対応に苦慮しつつも、後期からは必要に応じて対面活動を再開し、進学支援も行いました。
- V 「日本語学校を運営する事業」 オンラインも取り入れ進めました。寄付を元に本科生全員に学習支援奨学金、困窮学生に緊急支援奨学金を配布しました。外国人の入国制限が続く中、別科クラスは厳しい状況が続いています。
- VI 「不動産等賃貸事業」 地下は空室ですが、5 階の一部にテナントが入りました。階段修繕、LED 工事を行いました。

運営委員会は、会員や社会の変化へ対応するために、組織変革を提案し 9 月の全体集会で承認されました。私たちは 90 周年へ一歩を踏み出しました。

今日の YWCA の土台を作った植村環は「キリスト教女子青年会（YWCA）の出立点は、神と人とのアソシエーションであり、そしてその向かうところは、神に結ぶ婦人たち相互のアソシエーションである」という言葉を残しています。今後は経済成長主義によって解体されたコモン（自分たちの人間性に相応しい社会）を、私たちの小さなアソシエーションを通じ、再建していかなければなりません。

会員、関係者の皆様一人ひとりのお力を YWCA にお寄せいただきますようお願いします。

「もはや、ユダヤ人もギリシヤ人もなく、奴隷も自由人もなく、男も女もない。

あなたがたは皆、キリスト・イエスにあって一つだからである。」 ガラテヤ 3：28

事務局長 羽生（磯村）美保子

<事業の目的と概要>

この法人は、キリスト教の基盤に立ち、女性及び青少年のリーダーシップを育て、持続可能な社会を創造し、すべての人にとっての正義と平和を実現することを目的とする。
(定款第3条、第4条より)

- (1) 女性及び青少年のリーダーシップを育成する事業
- (2) 個別相談等を通じて女性を支援する事業
- (3) 諸外国の言語及び文化を学習する機会を提供する事業
- (4) 日本語教師を養成する事業
- (5) 日本語学校を運営する事業
- (6) 不動産賃貸等事業
- (7) その他この法人の目的を達するために必要な事業

<基本方針>

キリスト教基盤に立ち、共に生きる平和な社会を実現する

I 女性及び青少年のリーダーシップを育成する事業

ボランティア事業

1. 平和・人権・国際・環境等社会の課題についての学習及び普及啓発と人材養成事業

(1) 社会の課題解決のために働く人材を養成する事業

- ・名古屋YWCAが依拠するキリスト教基盤の価値観を学ぶために読書会を実施した。今年度は日本でゲイであることを公表して牧師となった平良愛香の著書『あなたが気づかないだけで神様もゲイもいつもあなたのそばにいる』を読み、キリスト教と同性愛、セクシャルマイノリティーについて話しあった。
- ・YMCAと共に合同祈禱週のプログラムを行い、会場とオンライン参加も含めた交流を行った。
- ・クリスマスにはオンラインも用いて、YWCAで活動している日高伴子牧師のメッセージを中心としたプログラムを行った。
- ・「天皇制問題を考える2.11集会は、他団体と共同で開催するよう準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染拡大により中止となった。SNS上に「平和文庫」を設置し、平和につながる本や歌などを発信した。

【プログラム】

活動名	主催	ゲスト／講師	実施日	参加延人数
キリスト教基盤読書会 『あなたが気づかないだけで神様もゲイもいつもあなたのそばにいる』	キリスト教基盤部会	————	6/17、7/15 9/16、10/21 11/18、1/21	35
YWCA — YMCA 合同祈禱週集会	キリスト教基盤部会	村山盛芳	11/14	21
サイレント・ピースアクション	キリスト教基盤部会	————	11/14	5
クリスマスとともに	キリスト教基盤部会	日高伴子	12/12	26
サイレント・ピースアクション	キリスト教基盤部会	————	12/12	13
2.11集会	平和・国際部会	————	中止	
平和文庫 (Facebook)	平和・国際部会	————	8/11 ~ 3/26	1233 リーチ (3/31 現在)

(2) 災害被災者支援事業

〔東日本大震災〕

- ・震災を風化させず、多くの人に福島の実状を知って関心を持ってもらうため、講演会を実施した。
講師はオンラインで講演を行い、参加者は会場とオンラインの両方で実施した。
- ・2012年度から行っている保養プログラム「名古屋いりゃあせツアー」を企画したが、新型コロナウイルス感染拡大のために中止とした。
- ・ピースあいちで開催された「福島を忘れない！被災地に寄りそって10年—設立から30年『NPO法人チェルノブイリ救援・中部』の活動」企画展に、名古屋YWCAの震災支援の活動パネルを展示した。
- ・「東日本大震災犠牲者追悼式あいち・なごや実行委員会」に参加し、3月11日の追悼式では受付、献花の手伝いを行った。

【プログラム】

活動名	主催	ゲスト／講師	実施日	参加人数
2020「名古屋いりゃあせツアー」	2020「名古屋いりゃあせツアー」企画チーム	————	5/2 ~ 5	中止
講演会 福島に向き合う科学者として思うこと	3・11 つながるプロジェクト	今中哲二	2/27	42

【他団体との協働・協力】

活動名	主催	担当	実施日	参加人数
福島を忘れない！被災地に寄りそって10年—設立から30年「NPO法人チェルノブイリ救援・中部」の活動	2020「名古屋いりゃあせツアー」企画チーム	3・11 つながるプロジェクト	3/2～4/3	———
東日本大震災犠牲者追悼式 あいち・なごや	東日本大震災犠牲者追悼式あいち・なごや実行委員会	3・11 つながるプロジェクト	3/11	参加者 約1,200名 実行委員会 YWCAから 5名

〔熊本豪雨被災者支援〕

- ・募金活動による寄付金を日本YWCAを通し、現地へ送付した。
- ・女性・子どもに必要と思われる物資を熊本YWCAへ送付した。



サイレントピースアクション



クリスマスとともに

2. 社会的に弱い立場におかれた人への支援事業

(1) 視覚に障がいを持つ人の社会参加を促進する事業

〈音声訳グループ〉は、視覚に障がいのある方が利用する「声の文庫」DAISY図書（デジタル録音図書の国際標準規格）の作成を行った。しかし、視覚に障がいのある方が美術鑑賞をすることがあたりまえのこととなるよう鑑賞会を行う活動〈アートな美〉は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【日常活動】

プログラム名	主催	回数	参加人数
「声の文庫」、協力団体、個人依頼の録音図書等作成	音声訳グループ	24タイトル	———
クリスマスカード作成	音声訳グループ	1	6

(2) 高齢者の福祉に資する事業

高齢者が自立して生きていくために日頃から社会の動きに関心を持ち共有する読書会や手仕事、おしゃべりをしながら日常の不安や課題を話し合う場を提供した。

【プログラム】

プログラム名	主催	実施日	参加人数
高齢者、障がい者消費者見守り支援講座	グループ おひとり様広場	中止	

(3) 路上生活のんびとを支援する事業

名古屋地域の支援団体とつながり、毎週金曜日に路上生活者に食事を提供した。また、名古屋の地で20年以上続く「炊出し」活動に協力し、毎月第3火曜日に、前日の「炊出し」で使用した食器、調理用具等の洗いや片付けを行い、次の「炊出し」へとつなげる活動を行った。

【プログラム】

プログラム名	担当	回数	参加延人数
食事と生活用品・衣類の提供	グループ スープキッチン	40回	利用者 1206 実施者 186
NPO ささしま共生会「洗い」支援	————	4回	28 (YWCA15)

(4) 日本に住む外国人を支援する事業

名古屋YWCA日本語学校に学ぶ学生たちと週1回、日本語で交流する「おしゃべり広場」、名古屋大学留学生のためのサポート活動は、新型コロナウイルス感染拡大のため実施できなかった。また、外国人が日本語で母国を紹介する「日本語サロン」を企画したが、グループ内の勉強会とした。

【プログラム】

プログラム名	主催	ゲスト	実施日	参加人数
外国人が話す日本語サロン（勉強会） 「古代遺跡が眠る国：エジプト」	グループ 国際交流会	アッリファイ・ワシム・バッサム	9/5	12

(5) ひとり親（母）家庭を支援する事業

日々の課題を抱え、生き延びることで精いっぱいシングルマザーたちが、分断され、孤立し、情報からも遠ざかっている中で、学び、楽しみ、つながることを目的に、当事者も加わる活動を目指している。今年度は新型コロナウイルス感染拡大のため、開催しなかった。

3. 子どもや青少年の健全な心身の育成に資する事業

- ・若い世代が中心となり、沖縄の抱える問題や平和について学ぶ「沖縄スタディツアー」を企画した。他地域YWCAコースにも呼びかけを行い、熊本・横浜・東京から参加があった。オンラインを使った事前ミーティングを行い、準備を進めることができた。
- ・オンラインを利用して沖縄に関する読書会を行い、事前学習会もオンラインで沖縄の講師から学ぶ機会として、広く参加を募り実施した。



沖縄スタディツアー 交流会



沖縄スタディツアー 嘉数高台

【プログラム】

活動名	主催	ゲスト／講師	実施日	参加人数
沖縄の子どもたちのいま 貧困と基地問題	青少年部会	森 雅寛	12/5	14
沖縄の基地と性暴力 誰もが安心して痛みを話せる社会に	青少年部会	高里鈴代	3/9	22
沖縄スタディツアー	青少年部会		3/20～22	9

4. ボランティア養成事業

- ・新型コロナウイルス感染拡大のため、計画をしたものの実施を取りやめた活動が多かった。
- ・運営委員会では、ボランティア自らが主体となり、組織の世代交代のための運営の課題に取り組み、活動のための調整、市民運動団体との連携などを行った。また日本YWCAの助成により、神戸・大阪・京都YWCAと共に「4市Y（運営委員パワーアップ計画）」として、オンラインでミーティングを行った。

<運営委員会>

運営委員会	在籍 9名	11回	参加延 94名
-------	-------	-----	---------

名称	内容	実施日	参加人数
会員集会	バザーのこれからを考える	6/13	32
臨時全体集会	・大規模災害等の緊急時の決議について ・新組織案について ・組織変更に伴う会員規則・運用細則の改定について	9/26	44 委任状 68
全体集会		3/6	41 委任状 107

数年検討を続けてきた会員活動の組織について臨時全体集会を行い、「新しい取り組みが始めやすい」という視点で組織の変更を決めた。会員3名で「プログラム活動チーム」として新しい活動を始めることができる。

【プログラム】

プログラム名	主催	実施日	参加延人数
まるっと OPEN DAY	ボランティアネットワーク部会	開催なし	
秋のバザー	————	開催なし	
こすもすの会	グループ こすもすの会	開催なし	

【他団体との協働・協力】

プログラム名	主催	担当	実施日	参加人数
日本YWCA「地域を主体とした活動」 四市Y「運営委員パワーアップ計画第2弾」オンラインミーティング	名古屋YWCA 京都YWCA 大阪YWCA 神戸YWCA	運営委員会	6/21、6/28、 9/6、10/11、 11/3、12/13、 1/10、1/31	129 (名古屋31)

【委員会・部会・チーム 例会】

プログラム名	在籍	回数	参加延人数
キリスト基盤部会	3	8	27
ボランティアネットワーク部会	7	5	27
青少年部会	10	13	111
女性部会	5	3	13
女性部会 みちくさスポット	5	3	14
平和・国際部会	4	4	13
3・11 つながるプロジェクト	7	4	26
2020 夏「名古屋いりゃあせツアー」企画チーム (3・11 つながるプロジェクト)	12	2	21
2021「名古屋いりゃあせツアー」企画チーム (3・11 つながるプロジェクト)	12	3	16
バザーを考える会	6	2	11
運営委員等候補者選考委員会	5	5	25

【グループ活動】

グループ名	在籍	回数	参加延人数
国際交流会	13	10	71
スピカ	3	3	18
おひとり様広場	14	7	39
アートな美	17	6	57
音声訳グループ	11	7	47
スープキッチン	9	別項参照	別項参照
小さい平和の権	5	9	37
手芸グループ	5	22	83
歌の会ラルゴ	13	11	122
旧約聖書を読む会	7	5	38
POP&ART	5	33	94
こすもすの会	5	活動なし	活動なし

5. バザーを考える会

今年度の「秋のバザー」は、新型コロナウイルス感染拡大のため中止とした。しかし、それだけでなく、会員の減少と高齢化、ライフスタイルの変化などから、これまでのようなバザーを開催することが難しくなった。そのため、運営委員会で「会員集会」を開き「これからのバザーをどうするか」について協議し、「バザーを考える会」を設置して考えることを決めた。

「バザーを考える会」での協議の結果、①バザーの目的である「名古屋YWCAを広く知ってもらおう」「会員の親睦」

「資金集め」を忘れないようにする、②年に2つ程度のイベントを行う。そのイベントは「BOOKフェス」「まるっとオープンデー」にしてはどうか、③現在、休止中の「ファンドレイジング委員会」を復活させて、そこで行ってはどうか、の3つを運営委員会に提案した。

また、以下の二つの案件もあった。

①ファン活応援団（職員有志の活動）が「BOOKフェス」を企画、運営してきたが、会員活動にしたい。

②運営委員会の組織の変更があり、2020年度で終了するボランティアネットワーク部会の活動（リサイクル衣料販売、まるっとオープンデー）の引き継ぎ先を探す必要がある。

「ファンドレイジング委員会」は組織上の「管理・運営部門」にあるため、運営委員会から理事会に提案した。理事会で協議の結果、活動内容が似ていることから、これまでの「広報委員会」と合わせて「広報ファンドレイジング委員会」として活動することとなった。

*バザーで販売しているクッキーとケーキを10月に販売した。数量は通常のパザールの半量だが、新しくクッキー缶を企画し、予約で完売した。収益は会員活動と緊急募金に分配した。

6. その他

(1) ボランティア体験等校外学習受け入れ

名称	主催団体	受入れ日	人数
団体紹介、活動紹介、ボランティア体験 「視覚障がい者との美術鑑賞<アートな美>」	名古屋女子大学中学校	11/7	15

(2) 他団体との協働・協力・集会参加等

【賛同】

プログラム名	主催	担当	実施日	参加延人数
あいち平和映画祭	あいち平和映画祭 実行委員会	運営委員会	————	————
8.6 新聞意見広告 2020	第九条の会ヒロシマ	運営委員会	————	————
フラワーデモ 自民党杉田水脈議員の性暴力被害者への発言撤回、謝罪、辞職を求めます	フラワーデモ	運営委員会	10/3	————

【署名】

名称	主催団体	提出日	筆数
「外国人住民基本法」の制定を求める国会請願書	日本YWCA	12/27	42
女性差別撤廃条約選択議定書のすみやかな批准を求める請願	日本YWCA	4/10	25
「化石燃料も原発も使わない、持続可能な再エネ100%の気候・エネルギー政策を求めます」	日本YWCA	1/31	55
ヒバクシャ署名再呼びかけ	日本YWCA	8/31	37

・「北京+25」ユースメンバー 南城友佳里

・CSW 国連女性の地位向上員会 ユース参加メンバー 河部瑠恭

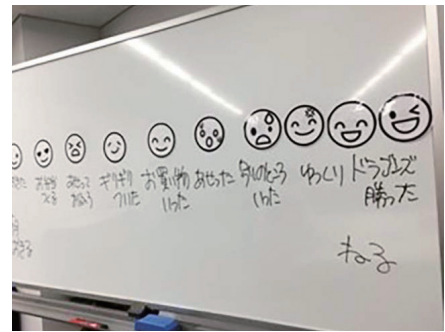
・1月13日 立命館大学国際平和ミュージアムより日本YWCA 情報提供の依頼（いりゃあせツアー写真利用について）

Ⅱ 個別相談等を通じて女性を支援する事業 [定款第4条(2)]

女性のための相談・支援事業

今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大や緊急事態宣言の影響で、グループワークはほぼ中止、カウンセリングの減少、外部講師の中止が相次いだ。女性を取り巻く状況は悪化しているため、講座やカウンセリングをオンラインへと移行し、継続した。

新規プログラムの性暴力被害女性のためのサポートグループ「あじさい」を開始したが、参加者は少なかった。来年度に周知を図りたい。新しく委託事業として、岡崎市の女性相談のスーパービジョンを受託した。コロナ禍の緊急予算で開始されたDV被害者のためのSNS相談の実施にも関わった。女性の置かれている状況を鑑み、暴力被害女性のための寄付による無料カウンセリングへの寄付は例年より集まった。



名古屋市 DV 被害親子支援プログラム
「気持ちをさがそう」

実施日	プログラム名	講師名	回数	人数
10/10、 11/7、21	女性のための相談・支援講座	WCNY	3	延 24
2/27	女性の発達障害と DV 被害～相談・支援のポイント	松本澄子	1	44
4月～3月	性暴力被害女性のためのサポートグループ「あじさい」	WCNY	4	5
4月～3月	ケースカンファレンス	井上摩耶子	5	60
通年	女性のためのカウンセリング	WCNY	384	384
通年	「パープルサポート」 寄付による DV・性暴力・虐待被害者のための無料カウンセリング	WCNY	12	12
通年	託児		3	3

【外部講師】

日程	タイトル	主催	回数	人数	担当
5/14、6/10 7/8、10/14 11/11、3/10	千草寮 職員研修 自己尊重トレーニングワーク スーパービジョンなど	岐阜県 千草寮	6	36	加藤
7/13、22	①職員研修 「心地よい人間関係とコミュニケーション ～学校、家庭の現状と問題、課題」 ②生徒向け「思春期の心とからだを大切に しよう～お互いを尊重する関係～」	三重県立聾学校	2	54	具
9/12	DV 理解の出前講座	愛知県庁 蒲都市役所	1	20	加藤
9/9、16	DV を知る講座「DV とは」「家庭で起こる モラルハラスメント」 DV を知る講座「面前 DV と子どもへの影 響」「傷ついた心のケア」	石ヶ瀬会館	4	39	加藤 具
9/9、23	女性のためのアサーティブコミュニケー ション講座～「私」の気持ち、伝えた方が うまくいく～ ①自分のコミュニケーションパターンに気 づこう ②コツをつかんで暮らしに生かそう	知多市男女共同参 画センターウィズ	2	23	増井
10/14、21 11/11	傾聴講座	半田市役所	3	41	増井

11/5	ドメスティックバイオレンス ～DVの基礎知識、被害者への対応	安城市役所 ／愛知県庁	1	60	具
11/10	DVについて理解を深める デートDV(DV)の現状と問題点	公立西知多看護専門 学校／愛知県庁	1	31	具
11/11	DVについて理解を深める デートDV(DV)の現状と問題点	愛知県立大学看護学 部／愛知県庁	1	105	具
11/17	DV家庭に潜む児童虐待の危険性 ～子どもがDV家庭で育つという事	知多市役所／愛 知県庁	1	30	具
11/24、12/1	自己尊重トレーニング講座	豊川共生ネット みらい	2	29	増井
12/14	お互いを尊重する関係でつきあおう～ 思春期の交際・恋愛・デートDV～	蒲都市役所	1	480	具
1/26	職員向けDV研修	長久手市役所	1	30	具
1/28、3/11	私のココロとカラダをみつめて ～ジェンダーの視点から考える いつまでも私らしく輝くために ～みんなが輝く社会に向けて	守山生涯学習 センター	2	28	加藤
1/30	男がすたるってなんだろう ～男女の間の対等な関係性を求めて	豊川共生ネット みらい	1	11	加藤
2/5、19	女性のための相談員養成 フォローアップ講座	半田市役所	2	6	増井
2/10、17 3/10、17、31	自己尊重トレーニング(オンライン)	フレンテみえ	5	52	増井
2/18	ワタシらしさを発揮するスキルアップ アサーティブコミュニケーションの体験	中生涯学習 センター	1	17	具
2/20	オンラインセミナー 今だからこそ知りたい 女性の役割分担意 識による負担と自己尊重感を高めるヒント	鈴鹿市男女共同 参画センター	1	20	増井
2/21	親子でセルフディフェンス	知多市男女共同参 画センターウィズ	1	30	増井
3/12	ケンカとDVの違いがわかりますか ～会話から考えるパートナーとの関係	春日井市役所	1	5	具

【委託事業など】

4月～3月	豊川市女性悩み事相談	豊川市役所	35回	93ケース	加藤
4月～3月	鈴鹿市女性悩み事相談スーパーバイズ	鈴鹿市役所	12回	————	増井
4月～3月	DVサポートグループひまわり	名古屋市役所	18回	延18人	WCNY
4月～3月	岡崎市相談員スーパーバイズ	岡崎市役所	48回	————	加藤、増井
随時	名古屋市親子カウンセリング	名古屋市役所	0回	実施なし	WCNY
8月～1月	DV親子支援プログラム(小4～中1)	名古屋市役所	6回	延25人	WCNY
11月～3月	DV親子支援プログラム(小1～小3)	名古屋市役所	0回	中止	WCNY
4月～3月	DV 性暴力 電話相談ホットライン		35回	407ケース	WCNY
7月～3月	DV SNS相談		11回	40ケース	WCNY

【カウンセラー、相談員など】9名

【協力・共催】

6月～3月(10回)	名古屋市親子カウンセリング	名古屋市役所
------------	---------------	--------

Ⅲ 諸外国の言語及び文化を学習する機会を提供する事業 [定款第4条(3)]

1. 語学・教育事業

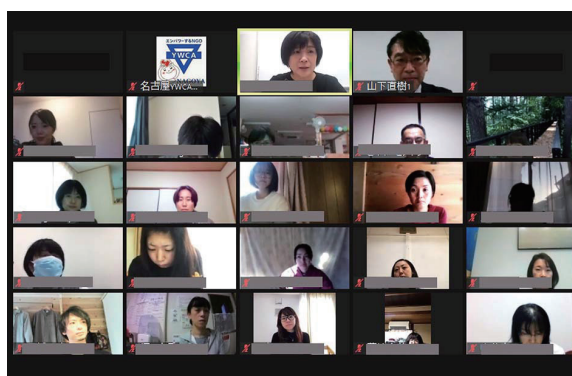
2018年4月171名(セミプライベート11名を含む)だった受講生が2020年3月に201名まで回復した。しかし、2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響で大きく減少した。受講を控える受講生も多かったが、オンラインクラスに挑戦したり、感染者が少なくなれば復帰したりと受講意欲と帰属意識が強い受講生が多いことも実感した。講師陣の協力により状況に柔軟に対応できた。今後も、受講生の学習意欲をそぐことなく、柔軟に学び続ける体制を確立していきたい。

また、受託事業の海外子女教育振興財団(外国語保持教室)、AFS日本協会(高校生交換留学プログラム)、身技レッスン(アレクサンダー・テクニークレッスン)がオンラインクラスへの変更や、開催中止となった。その結果、受託事業は昨年度より46%減少した。

一方で、2018年度からスタートした英検対策講座や、2019年度からの留学事前英語研修(受託)では、学生を受講生も確実に増えている。資格取得講座や、学生向けの講座をさらに発展させていきたい。



音まねレッスン



山下直樹オンライン講演会

【開催プログラム】

※1:登録人数

開催日	事業種別	クラス・講座名	講師名	回数	延人数
年間	レギュラークラス (31クラス)※	パンフレット参照	パンフレット参照	36	122 (※1)
年間	プライベート レッスン	英検プライベート、 通訳プライベート 他	テレサ・フジタ 二木路代 他	36	36
年間	セミプライベート レッスン	美容留学前研修、 金城 GTEC クラス 他	パウル・ヴァンデノール テレサ・フジタ 他	26	178
年間	SAPL プライベート レッスン	英語、フランス語、スペイン語	石垣裕子 西村恵美子	20	20
10月	短期講座	ライティング上級(2回講座)	アナ・クレア	2	6
9月	短期講座	英語ニュース・リスニング入門	澁澤幹子	1	4
9月～3月	短期講座	英会話「音まね」集中レッスン (15回講座)	澁澤幹子	15	35
年間	短期講座	英検対策少人数クラス (10回 x 3ターム)	テレサ・フジタ	55	194
年間	受託事業	海外子女教育振興財団 (外国語保持教室)	※2019年度 36回開催	15	—
年間	受託事業	AFS日本協会 (高校生交換留学プログラム)	※2020年度 開催中止	0	—
年間	受託事業	身技レッスン(アレクサンダー・ テクニークレッスン)	※2019年度 12回開催	5	—

2. 個別に配慮が必要な子どもを支援する事業

個別学習支援「タノシーム」は、新型コロナウイルスの感染に留意しながら実施した。国語・算数の講師のクラスでは、小学生を対象としている。しかしながら、中学生など年齢が対象外であったり、心理的な支援についてのニーズがあり、対応することとした。

例年開催の山下直樹講師の発達障がいを学ぶ講演会は8年目を迎え、新型コロナウイルス感染防止のため、初めてオンラインの講演会を開催し、全国からの参加者が集まった。

保護者向け個別相談「ポルカ」では、回数は少ないものの発達障がいと学校の連携や子どもの将来に関する相談があり、ニーズを感じた。

【開催プログラム】

開催日	事業種別	クラス・講座名	講師名	回数	延人数
年間	子ども支援	学習につまずきのある子どもの勉強室「タノシーム」	石垣裕子、大川 司	91	91
年間	子ども支援	「タノシーム」面談	石垣裕子、大川 司	1	1
年間	子ども支援	保護者向け個別相談「ポルカ」	大川 司	3	3
6/1、15 7/6	山下直樹オンライン講演会「子どもの発達障がいを学ぶ」	①「気になる行動」「困った行動」には意味がある ②ほめ上手、伝え上手になるヒント ③発達障がいの子どものこころのケア	山下直樹 (名古屋短期大学)	3	95

IV 日本語教師を養成する事業 [定款第4条(4)]

1. 日本語教師養成事業

- ・新型コロナウイルス感染症の影響で、5月よりオンラインクラスでの開講となった。
- ・オンラインクラスへの切り替えを行ったため、スケジュール変更が相次いだ。
- ・テスト、実習授業は、人数を制限し、対面で実施した。
- ・短期講座は、日本語教育能力検定試験対策講座を実施した。
日本語教育能力検定試験の合格率は高く、約60%であった。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響で、各地域ボランティア教室の開催ができず、日本語ボランティア養成講座の依頼が減少した。知多市と一宮市で実施し、オンラインで開催した。
- ・大学への講師派遣は、前期は全面オンライン、後期はオンラインと対面で行った。
- ・式典、講演会等については、修了式のみ開催した。

【開催プログラム】

開催月	プログラム名	回数	延人数
4月～3月	日本語教師養成講座 個別相談会	31回	31
4月～通年	日本語教師養成講座	162回	59(前期登録者数) 67(後期登録者数)
8月～	日本語教育能力検定試験対策講座 講師：横井、中本他	12回(24時間)	274
4月	日本語教師養成講座 修了式	1回	43

【外部講師・委員】

地域名	時期	参加者数
知多市国際交流協会	9/20、9/27、10/4、10/11、10/18	16
一宮市国際交流協会	12/4、12/11	23

- ・地域における初期日本語教育モデル事業 運営委員



教育実習



修了式

【修了生の進路】（2020年4月～2021年3月） 計10名

プライベート	2件	学校・研修生 非常勤 専任	6件	海外	0件	進学	2件
(申込み学習者国籍)		名古屋 YWCA 学院日本語学校	1			名古屋外国語大学	1
スリランカ	1	京進ランゲージアカデミー	1			南山大学	1
ブラジル	1	名古屋北校	1				
		名古屋経営会計専門学校	1				
		初期日本語教室	1				
		城北つばさ高校	1				

*2020年度講師登録者7名 2004年度登録開始現在468名

【教育訓練給付制度対象講座】

本科Ⅱ（2018年10月指定）	2018年10月 ～ 2021年9月
-----------------	--------------------

【教育訓練給付制度利用者】 4名

【科目履修申し込み者数】 4名

2. 日本に住む外国人の子どもを支援する事業

- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、困難な状況下にある子どもとその家族を考慮し、無料支援を実施した。（2020年8月末まで）
- ・4、5月は対面による活動を中止した。5月より教科クラスをオンラインにて開始した。
6月より開催曜日やクラス内の人数を分散し対面クラスを再開したが、7月末のコロナ感染者増加を受け、夏休みクラスは不開催となった。
10月より人数制限を行いながら対面で活動を再開した。
- ・本年度高校へ進学予定の受験生（特に教育につながない過年度生）への学習機会の提供は必須のため、8月より教科クラス（数学）、10月より進学サポートクラスをオンラインにて実施した。
- ・名古屋市と連携をし、受験生のために進学ガイダンスを実施した。
- ・学校型日本語クラスは開講できなかった。
- ・会員（1名）より、大口寄付（30万円）があり、無償支援期間中の参加費、コロナ対応品、備品購入に使用した。



子ども日本語クラス（オンライン）



子ども日本語クラス

<グローバルスクール>（2020年度愛知県国際交流協会学習支援基金交付事業）

教室名/生徒登録者数		1学期	2学期	3学期	夏休み	冬休み
子ども 日本語 クラス	小中学生クラス	21	24	21	不開講	不開講
	高校準備クラス	8	11	14		
	高校生昼間クラス	19	19	19		
	高校生夜間クラス	15	18	14		
教科	教科クラス（基礎）	10	9	6		
	教科クラス（応用）	15	18	—		
進学支援	進学サポートクラス	—	—	9		

*新型コロナウイルス感染症の影響で、夏休み、冬休み教室は不開講であった。また、例年の遠足、スピーチコンテスト、メッセナゴヤ異業種交流展示会（就労支援）も実施できなかった。

【ガリ勉奨学金】 参加費免除3名

【スタッフ】 コーディネーター 2名、ボランティア登録26名

【ガリ勉家庭教師】 年間2名

【その他の活動】 進学相談会

開催日	内容	相談者数/参加者数
9/5	進学ガイダンス	7
1/9	学校見学会	7
1/26	学校見学会	6

【進路結果】

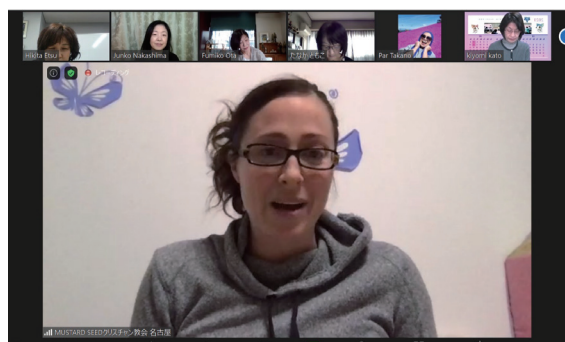
進学先	人数	進学先	人数
私立高校	5	大学	2
公立高校	2	専門学校	2
昼間定時制高校	3	就職	2
夜間定時制高校	8		

3. 日本に住む外国人生活者を支援する事業

- ・ファミリークラスは、託児希望者が多く、対面による再開が困難となった。
7月に1回オンライン交流を図り、9月より、オンラインによる支援を実施した。



ファミリークラス（オンライン）



ファミリークラス（オンライン）

ファミリークラス 子育てと生活の日本語教育

外国人父母のための日本語教室	学期	人数
ファミリークラス	1ターム	不開催
	2ターム	11
	3ターム	12

【スタッフ】コーディネーター 1名、ボランティア 8名

第三国定住難民支援事業（文化庁再委託事業）

- ・愛知県へ定住した第三国定住難民（第10陣）に対し日本語教育を行った。
- ・緊急事態宣言中は、オンラインにて授業を行った。

家族数	人数
6	20

【スタッフ】コーディネーター 1名、講師 5名

V 日本語学校を運営する事業 [定款第4条(5)]

日本語学校事業

【本科コース】

- ・新型コロナウイルス感染症の影響でスケジュールが大幅に変更となった。4月から5月を休校としたため、祝日や夏休みの一部にも授業を行ったが、1か月遅れのスケジュールとなった。
- ・授業や行事にオンラインを活用した。新型コロナウイルスの感染が拡大した8月、1月から2月はオンライン授業に移行し、休校にすることなく授業を継続することができた。また、スピーチコンテストをオンラインで配信をしたところ、通常なら参加できない海外にいる学生の家族や外部のゲストも参加することができた。3月にはJ4クラスで吉本興業所属のお笑いコンビ、フランポネさんによる「漫才で覚える日本語」の授業をオンラインで行った。
- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響で外部試験などのスケジュールが変更になる中でも、希望する学生全員が進学や就職をすることができた。
- ・新規入国ができない期間が長く続き新入生が例年の半数となったが、継続生が多かったため、春・秋学期ともに前年とほぼ同数の学生数（4クラス）で好調を維持した。出身は延べ16の国と地域であった。在留資格は定住者が全体の26%で最も多く、次いで家族滞在、日本人配偶者と日本に長期滞在する外国人がほとんどを占める一方、留学生は1人に留まった。今期も日本人（海外育ち）が1割近くとなり、多様な背景を持つ学生が集まった。

【別科コース】

- ・本科と同様、新型コロナウイルス感染拡大の影響でスケジュールが大幅に変更になった。2019年度冬学期の授業60クラス分を2020年度春学期に振り替えて行った。2020年度の春学期、春の日本語能力試験対策コース、夏学期は不開講となった。
- ・本科と同様、新型コロナウイルス感染拡大時にはオンライン授業に移行した。
- ・夏期集中コースを開講しなかったことと、秋学期の学生数が前年比85%、冬学期の学生数が前年比61%と大きく減ったため、別科の年間延べ学生数は昨年の364名を大きく下回る232名となった。通学時や学校内での感染への不安、経済状況の悪化、家庭の事情（子どもの学校が休校になった、保育園が休園になったなど）などの理由があげられる。
- ・秋に日本語能力試験対策コースを開講した。例年同様のN1からN3クラスと、今期新開講のN4クラスを加えた合計4クラスを開講した。前年比104%の学生が受講し好調だった。また、受講した学生の93%が受験級に合格した。

【日本語学校奨学金】

- ・春学期は、韓国、ネパール、バングラデシュ、ベトナムの学生、秋学期はフィリピン、ベトナム、メキシコ、日本（フィリピン出身）の学生に給付した。
- ・新型コロナウイルス感染拡大により経済的に困窮する学生が増加した。そのため春学期初日に本科生全員に学習支

奨励学金を一人30,000円ずつ給付した。

- 新型コロナウイルスの影響で学習の継続が難しくなった学生のための高額の寄付も相次いだ。
2種の緊急奨学金を設置し、15万円を3名、10万円を4名に給付した。



オンライン授業



漫才で覚える日本語

【本科コース】

コース名	学期	期間	時間数	クラス数	学生数	国籍
本科1年課程	春	6月4日～10月30日	400	4	31	13
	秋	11月6日～4月8日	400	4	35	15

学期		行事
春学期	6/4	春期コース入学オリエンテーション・クラス分け試験
	9/14	スピーチコンテスト
	10/2	遠足（東山動物園）
	10/14	J4 クラスインターン
	10/23～27 10/30	期末試験 春期コース卒業・修了式
秋休み	11/2～5	
秋学期	11/6	秋期コース入学オリエンテーション・クラス分け試験
	12/14	健康診断
	3/26	交流パーティー
	3/30～4/2 4/8	期末試験 秋期コース卒業・修了式



交流パーティー



遠足（東山動物園）

【別科コース】

学期	コース名	期間	時間数	クラス数	学生数	合計	国籍
春	別科 午前	6月～9月	60	6	51	72	20
	別科 午後		60	3	21		
秋	別科 午前	10月～1月	69	6	55	77	19
	別科 午後		69	3	22		
	能力試験対策	10月～12月	20	4	29	29	14
冬	別科 午前	1月～4月	69	7	43	54	18
	別科 午後		69	2	11		

*春学期別科は2020年冬学期の60レッスン分を2021年に振り替えた。

VI 不動産賃貸等事業 [定款第4条(6)]

不動産賃貸事業

1. 不動産賃貸事業

YWC Aが使用していた5階の約18坪を、2月よりテナントへ貸付けることとなった。しかしながら、前年度退去した地下はまだ空室である。新型コロナウイルス感染拡大により、市場は厳しい状況が続いており、新規契約は難しい。稼働率は、現時点において98%となっている。

支出においては、予定通り、テナントのLED工事と階段の貼替工事を行った。また、特別修繕引当資産を取崩し、経常外収益に1,000万円を計上した。その結果、この事業の主たる目的である公益目的事業へのみなし寄付は、前年並みの約1,500万円となった。YWC Aビルは、築後30年が経過しており、今後も様々な設備の取替や、修繕が予想される。長期修繕計画のもと、特別修繕積立金を活用しながら、管理、運営を行っていく予定である。

2. 外部会議室利用

愛知県・国の緊急事態宣言を受け、4月11日～5月31日まで休業とし、貸会議室は8月まで中止した。また、予約されていた貸会議室のキャンセルも相次いだ。

	利用回数 (のべ)			利用人数 (のべ)		
	外部 (注1)	運営協力 (注2)	合計	外部 (注1)	運営協力 (注2)	合計
ビッグスペース	7	1	8	120	30	150
会議室	34	9	43	338	112	450

(注1) 非営利・営利の個人及び団体等 (注2) 施設維持の協力団体

VII その他 この法人の目的を達するために必要な事業 [定款第4条(7)]

広報・新聞委員会

1. 新聞委員会

名古屋YWC Aの活動を幅広く知ってもらうため、またYWC Aの会員の情報の共有のために、2ヶ月に一度、A4版8頁の機関紙を発行し、1回につき約400の個人・団体に発送した。

◇機関紙 広告協力企業等

愛知国際病院、恵沢法律事務所、司法書士事務所ひらら、ヘア&メイクポアソンレヴール

◇機関紙配布先

会員・会友、賛助会員、各市YWC A、関係団体、クラス生徒・講師、講座・プログラム参加者 等

発行月	記事内容			
	1・2面	3・4面	5・6・7面	8面
4、5月号	<ul style="list-style-type: none"> ・今月の聖句 ・第46回天皇制問題を考える2.11集会 講師：李允淑 ・日韓ユースカンファレンス（加藤のりか） ・全体集会報告 ・2020年度運営委員 	<ul style="list-style-type: none"> ・「秋のバザー」のこれからを考える、アンケート結果 ・グローバルスクールだより ・聖書に聞く（草地大作） ・教えて！MIHOちゃん 	<ul style="list-style-type: none"> ・イエスの12弟子ってどんな人？ ・会費納入のお願い ・まるっとOPEN DAY 予告（ボランティアネットワーク部会） ・WCNY ・語学・教育部 ・日本語学校 ・日本語教師養成講座 	<ul style="list-style-type: none"> ・からしだね（渡辺敬子） ・理事会報告 ・運営委員会報告 ・新入会員・寄付者 ・寄付のお願い ・BOOKフェス延期
6、7月号	<ul style="list-style-type: none"> ・今月の聖句 ・フラワーデモと「私」（具ゆり） ・全体集会の表決結果報告（永山峰子） ・まるっとOPEN DAY 中止 	<ul style="list-style-type: none"> ・「グローバルスクール」ボランティアスタッフ オンライン座談会（加藤のりか、國枝京子、長橋美保、山田由美子、和田貴子<職員>） ・聖書に聞く（草地大作） 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ活動紹介 ・WCNY ・語学・教育部 ・日本語学校 ・日本語教師養成講座 	<ul style="list-style-type: none"> ・からしだね（新海恵） ・評議員会、理事会報告 ・運営委員会報告 ・新入会員・寄付者 ・寄付のお願い ・いりゃあせツアー中止 ・日本語学校学習奨学金給付
8、9月号	<ul style="list-style-type: none"> ・今月の聖句 ・新型コロナウイルス感染を機に国のあり様を考えてみよう！（内河恵一） ・会員集会「これからのバザーを考える」（山田由美子） ・臨時全体集会のお知らせ ・2020年度体制 	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい組織についてQ & A（会員活動の新組織案） ・聖書に聞く（草地大作） ・教えて！MIHOちゃん 	<ul style="list-style-type: none"> ・蔵出しからしだね ・WCNY ・語学・教育部 ・日本語学校 ・日本語教師養成講座 	<ul style="list-style-type: none"> ・からしだね（岡田淳子） ・評議員会、理事会報告 ・運営委員会報告 ・賛助会費・寄付者 ・寄付のお願い ・クッキー、ケーキ販売予告 ・スープキッチン応援ランチ予告 ・熊本豪雨災害被災者支援募金
10、11月号	<ul style="list-style-type: none"> ・今月の聖句 ・国際交流会31年の歩み ・3・11つながるプロジェクト「2021年度まで活動を続けます」（飯野充子） ・バザーを考える会報告 	<ul style="list-style-type: none"> ・キリスト教基盤読書会（日高伴子） ・クリスマスをとものに予告 ・YWCA—YMCA 合同祈禱週予告 ・緊急募金のお願い ・聖書に聞く（草地大作） ・クッキー、ケーキ販売予告 	<ul style="list-style-type: none"> ・蔵出しからしだね ・候補者選考委員会 ・WCNY ・語学・教育部 ・日本語学校 ・日本語教師養成講座 	<ul style="list-style-type: none"> ・からしだね（翁長直美） ・理事会報告 ・運営委員会報告 ・新会員・賛助会費 ・寄付者 ・寄付のお願い ・BOOKフェス予告

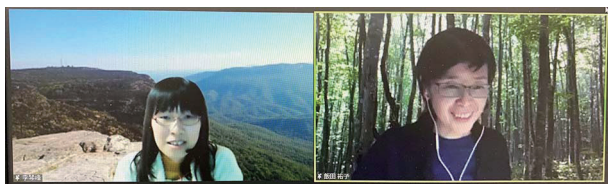
発行月	記事内容			
	1・2面	3・4面	5・6・7面	8面
12、1月号	<ul style="list-style-type: none"> ・今月の聖句 ・クリスマスメッセージ「すべてのいのちを喜ぶ」(和田芳子) ・臨時全体集会報告(城間瑚海) ・平和・国際部会「Facebookで平和文庫を始めました」(田中眞希子) 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語学校「緊急学習支援奨学金を給付しました」(本多淑子) ・3・11つながるプロジェクト(夏目とよ子) ・BOOKフェス予告 ・おすすめMIHOちゃん「本の紹介」 	<ul style="list-style-type: none"> ・クッキー、ケーキを販売しました(下方タ子) ・クリスマス寄付のお願い ・青少年部会 オンライン講演会予告 ・WCNY ・語学・教育部 ・日本語学校 ・日本語教師養成講座 	<ul style="list-style-type: none"> ・からしだね(山田慶江子) ・理事会報告 ・運営委員会報告 ・賛助会費・寄付者 ・寄付のお願い ・おひとり様広場「見守り支援講座」予告 ・冬期休館のお知らせ
2、3月号	<ul style="list-style-type: none"> ・今月の聖句 ・伊勢湾台風がつないだ「名古屋キリスト教社会館と名古屋YWCA」(湧井規子) ・クリスマスとともに報告(岡田淳子) ・合同祈祷週報告(磯井和子) ・2020年度全体集会予告 	<ul style="list-style-type: none"> ・北京女性会議・北京行動綱領採択から25年(増井さとみ) ・Y's Wonderful Women賞受賞者紹介(小谷充子、七野嘉子、朽久保滯子、宮内貞子) ・BOOKフェス延期 ・2.11集會中止 ・聖書に聞く(草地大作) ・教えて! MIHOちゃん 	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年部会オンライン「沖縄の子どもたちはいま 貧困、基地問題」(二宮由布子) ・沖縄スタディツアー寄付のお願い ・クリスマス寄付感謝報告 ・WCNY ・語学・教育部 ・日本語学校 ・日本語教師養成講座 	<ul style="list-style-type: none"> ・からしだね(ラミチャネロヒット) ・理事会報告 ・運営委員会報告 ・新入会員・寄付者 ・賛助会費 ・寄付のお願い ・WCNY オンライン講座「女性の発達障害とDV被害」予告 ・ボランティア活動保険加入手続き

2. 広報委員会

- ・名古屋YWCAパンフレット(A5サイズ)を作成した。活動をジャンルで分け、わかりやすくすることを考えた。
- ・熊本YWCAコスモポリタン委員会オンライン研修「広報について」講師：職員 下方タ子(11/29)。
- ・9月の寄付キャンペーン「路上生活者の支援(スープキッチン)」関連で「スープキッチン応援ランチ」を企画、販売した。30食(9/26)

【ファン活応援団】(職員有志で結成 メンバー：下方、西田)

- ・「名古屋YWCAのファンを増やす」「YWCAの活動の応援を通し、人と寄付が名古屋YWCAに集まる仕組みを作る」ことを目的に2016年度から始めた。
- ・今年度も「BOOKフェス」を企画したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期となった。オンラインイベント「作家が自著を語る BOOKトークBOOK」(1/27)は実施することができた(参加40名)。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染予防には手洗いが効果的であるということから、「手洗い動画」を作成し、SNS等で配信した(3/11)。



BOOKトークBOOK(オンライン)
ゲスト：李琴峰(左) 聞き手：飯田祐子



手洗い動画

会館管理委員会

多くの人が気持ちよく利用出来るよう、日常的な会館の維持・管理・運営を行った。

【修繕工事】

- ・消防設備改修工事
- ・LED化工事（5階、6階）
- ・屋内階段補修工事（地下～8階）
- ・外階段通用ドア増設工事
- ・高圧受電設備機器PCB分析、及び取り換え工事

【その他】

- ・新型コロナウイルス感染拡大により増えたオンライン会議、授業などをスムーズに行えるようWi-Fiの周波数帯の変更や有線化など通信状況の改善整備を行った。

会員・会友・賛助会員・寄付・助成金等

■会員・会友

◇2021年3月末 会員数 186人 会友数 11人

※新入会員6名（会友0名）、退会者16名（会友2名）

■賛助会員

◆法人 4社

鹿島建物総合管理株式会社中部営業所、税理士法人T&L中事務所、
中部キリンビレッジサービス株式会社、イワジン真珠有限会社

◆個人 11名

河野登喜子、子安愛子、谷川いづみ、桑原晶子、大橋玲子、林正弘、鶴崎祥子、佐尾三保子、小谷治郎、
門田一美、匿名1名

■寄付

◆寄付者

（個人 YWCA会員含む）

青木浩子、青野桐子、浅井みどり、荒川彩美、安藤孝子、安藤豊子、飯野充子、池田富代、石垣裕子、磯井和子、
磯貝真紀、磯野良平、磯村美保子、伊藤佳織、伊藤嘉奈子、伊藤信子、井上摩耶子、猪村礼子、杢山逸子、
岩城真吾、岩城孝子、岩田えり子、岩田玲子、白井ひさこ、白田治子、遠藤清美、大久保素子、大崎康子、大橋玲子、
岡田淳子、荻須恵子、奥村啓子、春日玲子、加藤明子、加藤佐紀子、加藤初果、上村桂恵子、河野登喜子、河野芳江、
吉野瞳子、木村繁子、木村艶子、具ゆり、轡田容子、倉地節子、國枝京子、栗山義久、桑原晶子、河野美津子、
小崎美和、小谷充子、後藤久見子、後藤尚子、後藤聡子、後藤田典子、小林久子、小林雄二、小松友子、小宮一子、
子安愛子、小山弥寿治、小山玲子、近藤真由美、近藤美智世、坂井瑛子、坂井文子、酒井美智子、坂田昌子、
サフダファハド、七野嘉子、柴啓子、下方夕子、新海美佳、鈴木しず子、諏訪昭子、祖父江修、平良一器、
高月三世子、高橋紀久子、田島みづ穂、立松房枝、田中千穂、田中文宏、田中眞希子、田中万寿、谷川いづみ、
谷川毅、玉内廣子、手島千景、朽久保滯子、中島隆宏、中辻千代江、長縄光子、長橋美保、中村紀子、永山峯子、
夏目満雄、夏目とよ子、新倉春美、西川恵、西田文乃、西山節子、丹羽美智子、野崎典子、朴亜紀子、蓮尾陽子、
羽生日登志、林滯子、土方千保、日高伴子、平野直子、堀田朋樹、堀尾純子、本多淑子、増井さとみ、増田千恵、
町田雅子、松井拓夫、松川裕成、松村創、松村真理子、三島郁子、三宅ゆかり、水谷廣子、三堀史恵、宮内貞子、
宮治陽子、武藤佐知子、馬上貴美子、安田寛子、山崎京子、山下直樹、山下希、山田慶江子、山田照子、
横井邦子、横江順子、横澤生子、吉兼亜古、吉澤道子、吉澤摘麦、吉田直美、ヨシミミドリ、脇田純子、
Glasspool Lucy、匿名21名

（企業・団体）

イワジン真珠有限会社、名古屋キリスト教協議会、社会福祉法人名古屋キリスト教社会館、
名古屋和合ロータリークラブ、全国音訳ボランティアネットワーク、日本キリスト教団南山教会、
名古屋YWCAグループ等（運営委員会、音声訳グループ、国際交流会）

【法人 寄付】

通年	一般寄付	865,100 円
通年	受取維持費	237,251 円
通年	受取運営協力金	156,900 円

合計 1,259,251 円

【ボランティア事業 寄付】

通年	運営委員会（路上生活者のために、熊本豪雨被災者支援、クリスマス）	718,932 円
通年	部会（キリスト教基盤、平和・国際、ボランティアネットワーク、青少年）	104,500 円
通年	東日本大震災被災者支援(3・11 つながるプロジェクト、いりゃあせツアー)	6,000 円
通年	グループ	518,585 円

合計 1,348,017 円

【女性のための相談・支援事業 寄付】

通年	パープルサポート(暴力被害者への無料カウンセリング)	595,500 円
通年	女性のための相談・支援事業 指定寄付	120,000 円

合計 715,500 円

【日本語教師養成事業 寄付】

通年	グローバルスクール 子ども日本語クラス	個人 28 件、団体 2 件	977,004 円
通年	グローバルスクール ファミリークラス	個人 2 件	2,000 円

【日本語学校事業 寄付】

通年	日本語学校奨学金基金	個人 42 件	1,451,000 円
----	------------	---------	-------------

【法人 物品寄付】

個人（日本語学校卒業生）	マスク（5 枚× 50 セット等）
オペレーションブレッシングジャパン	微酸性除菌水 7 月～ 3 月（計 9 箱）

【ボランティア事業 物品寄付】

寄付者	対象プログラム	内容
匿名	スープキッチン	野菜、食材
匿名	リサイクル衣料	衣料

【日本語教師養成事業 物品寄付】

寄付者	対象プログラム	内容
匿名	グローバルスクール	ネクタイ
重原厚子	グローバルスクール	切手、はがき
朽久保滯子	グローバルスクール	文具
富谷千里	グローバルスクール	本
匿名	グローバルスクール	切手、文房具、本

【日本語教師養成事業 物品寄付】(前ページ続き)

寄付者	対象プログラム	内容
日本赤十字社愛知県支部	グローバルスクール	タブレット端末 10 台、ルーター 1 台

【日本語学校 物品寄付】

寄付者	内容
中区役所	非常食 (在籍学生全員分)

【女性のための相談・支援事業 物品寄付】

寄付者	内容
匿名	アロママッサージチケット

■補助金・助成金

【法人】

助成団体名	対象プログラム	金額
日本 YWCA	地域支援 他	2,169,190 円
愛知県	休業協力金	* 500,000 円
愛知県労働局	緊急雇用安定助成金	* 1,851,840 円
雇用環境均等局	両立支援助成金	* 523,222 円

*各事業部へ分配

【日本語教師養成事業 助成金】

助成団体名	対象プログラム	金額
公益財団法人愛知県国際交流協会 日本語教育学習支援事業助成金	グローバルスクール	1,060,000 円

【日本語学校事業 補助金】

助成団体名	対象プログラム	金額
名古屋市	日本語学校学生 結核検診補助金	38,874 円

世界 YWCA ・日本 YWCA 他

■世界 YWCA

4 月	世界 YWCA 日
10 月第 3 週	世界 YWCA 非暴力週間
11 月 14 日	世界 YMCA ・世界 YWCA 合同祈祷週
3 月	CSW (国連女性の地位委員会)

■日本 YWCA (2020 年度は全てオンライン開催)

4 月 22 日	総幹事会
5 月 24 日	加盟 YWCA 中央委員会
5 月 25 日	総幹事会
7 月 21 日	「平和のための YWCA 研究室」準備会
10 月 28 日	総幹事会
11 月 23 日	全国会員総会
1 月 26 日	全国幹事会 オンライン分科会

■地域Y W C A

＜四市Y（名古屋、京都、大阪、神戸）第2期Local Action＞ オンラインミーティング

6月21日	タスク①「今年度の取り組みについて」
6月28日	タスク②「ユースエンパワメントに関する現状報告」
9月6日	タスク①「運営委員研修について」
10月11日	タスク②「ユースエンパワメントの取り組みについて」
11月3日	タスク①「キリスト教基盤について」
12月13日	タスク②「ユースエンパワメントの取り組み、今後の展望と課題」
1月10日	タスク①「今後の方策と運営委員研修について」
1月31日	「第2期LA振り返りと次年度の取り組みについて」

■関係団体

愛知県青少年団体連絡協議会、愛知県青少年育成県民会議、愛知県留学生交流推進協議会、防災のための愛知県ボランティア連絡会、名古屋市男女平等参画推進会議、公益財団法人愛知県国際交流協会、公益財団法人アジア保健研修所、公益財団法人名古屋YMCA、公益社団法人日本語教育学会、一般財団法人日本語教育振興協会、社会福祉法人名古屋キリスト教社会館、名古屋キリスト教協議会、認定特定非営利活動法人名古屋NGOセンター、特定非営利活動法人日本フェミニストカウンセリング学会、認定特定非営利活動法人ウィメンズアクションネットワーク、あいち沖縄会議、秘密法と共謀罪に反対する愛知の会、未来につなげる・東海ネット、性暴力禁止法をつくろうネットワーク、東海日本語ネットワーク、東海キリスト者災害ネット（TCDN）、フラワーデモ

■役員等

- ・公益財団法人アジア保健研修所 評議員
- ・社会福祉法人名古屋キリスト教社会館 評議員
- ・名古屋キリスト教協議会 役員・名古屋市男女平等参画推進会議 委員
- ・文化庁地域日本語教育スタートアッププログラムアドバイザー
- ・「法務省告示をもって、日本語教育機関を定める際の設備・編成を調査する委員会」委員

会議等

■評議員会 任期 2019年6月9日～2023年6月評議員会まで

<評議員> 岡田淳子、草地大作、雑賀正浩、榊原千鶴、富澤 孝、中村 隆、羽佐田美千代、日高伴子、湧井規子

開催日	報告事項	審議事項	人数
6月17日 定時	2020年度4・5月主要事業報告	2019年度事業報告案承認の件 2019年度決算案承認の件 2019年度定期提出書類案承認の件	9
3月17日 臨時	2020年度主要事業報告 将来計画について	2020年度事業計画案承認の件 2020年度予算案承認の件	9

■理事会 任期 2019年6月19日～2021年6月16日

代表理事 加藤佐紀子

業務執行理事（事務局長） 羽生（磯村）美保子

業務執行理事 岩田えり子、吉兼亜古

理事 國枝京子、谷川いづみ、田中眞希子

監事 近藤眞由美、夏目とよ子

開催日	報告事項	審議事項	人数
5月16日 臨時	<ul style="list-style-type: none"> ・日本YWCA ・人事委員会 ・運営委員会 ・不動産賃貸事業 ・日本語教師養成事業 (学院規則変更について) ・職員会（コロナ対応事業告） 	新型コロナウイルス感染拡大による 2020年度事業の影響について	9
5月29日 通常	<ul style="list-style-type: none"> ・日本YWCA ・2019年度臨時評議員会 (3月書面決議) ・運営委員会 ・不動産賃貸事業 ・人事委員会 ・2020年度4・5月主要事業 ・2019年度管理費決算 ・職員会 	<ul style="list-style-type: none"> ・2019年度事業報告案承認の件 1. 2019年度事業報告案説明 2. 監査報告 ・2019年度決算案承認の件 1. 2019年度決算案説明 2. 監査報告 【顧問会計士による講評】 ・新型コロナウイルス感染拡大の事業 への影響について 	10
7月30日 臨時	<ul style="list-style-type: none"> ・日本YWCA ・2020年度4月～6月事業 ・2020年度4月～6月会計 ・第3回運営委員会 ・不動産賃貸事業 ・会館管理委員会 ・人事委員会 ・将来計画検討 会館を考える会 ・愛知県定期提出書類に係る ・職員会 ・語学教育事業 ・日本語教師養成事業 ・日本YWCA コロナ禍の地域Y WCAへの緊急支援申請 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス対策について ・将来計画について 	10

開催日	報告事項	審議事項	人数
10月30日 臨時	<ul style="list-style-type: none"> ・日本YWCA ・2020年度7月～9月事業 ・2020年度4月～9月会計 ・運営委員会 ・職員会 ・人事委員会 ・会館管理委員会 ・日本語学校事業 ・コンプライアンス委員会 ・日本語教師養成事業 ・教育部事業 ・不動産事業 ・「会館を考える会」 	<ul style="list-style-type: none"> ・将来計画について ・2021年度事業計画案並びに予算方針案の件 ・建物賃貸借業務委託会社との業務委託契約更新の件 ・在宅勤務規程について ・2021年度主要管理費予算案の件 ・高圧受電設備機器微量PCB分析及び取り換え工事見積について ・税理士法人T&L中事務所解散に伴う顧問契約の変更について 	10
12月16日 臨時	<ul style="list-style-type: none"> ・日本YWCA ・運営委員会 ・不動産賃貸事業 ・人事委員会 ・愛知県立ち入り調査について ・コンプライアンス委員会 	<ul style="list-style-type: none"> ・2020年度推定決算及び2021年度予算案の件 ・将来計画検討の件 ・ファンドレイジング委員会再開の件 ・2021年3月臨時評議員会開催の件 ・コンプライアンス案件の件 	11
1月29日 通常	<ul style="list-style-type: none"> ・日本YWCA ・2020年度10月～12月事業 ・2020年度4月～12月会計 ・運営委員会 ・不動産賃貸事業 ・人事委員会 ・職員会（コロナ対応） ・第2期将来計画WG中間報告 	<ul style="list-style-type: none"> ・2021年度事業計画案の件 ・2020年度推定決算及び2021年度予算案の件 ・特別修繕引当金取り崩しの件 ・広報ファンドレイジング委員会設置の件 ・2020年度全体集会報告の件 	10
3月3日 臨時	<ul style="list-style-type: none"> ・日本YWCA ・運営委員会 ・人事委員会 ・不動産賃貸事業 ・職員会 ・第2期将来計画WG ・新顧問会計事務所契約 	<ul style="list-style-type: none"> ・顧問弁護士契約更新の件 ・顧問会計事務所契約更新の件 ・将来計画検討の件 ・2021年度賛助会員募集の件 ・2020年度臨時評議員会開催の件 ・事務局長の雇用契約更新の件 	10

■人事委員会

※11月26日 愛知県立ち入り検査

今年度は、主に以下の事案について理事会に報告・提案を行った。

- ・在宅勤務規程ならびに各就業規則の整備
- ・日本YWCA幹事研修への派遣
- ・36協定の更新
- ・新職員の採用
- ・2021年度職員体制

■コンプライアンス委員会

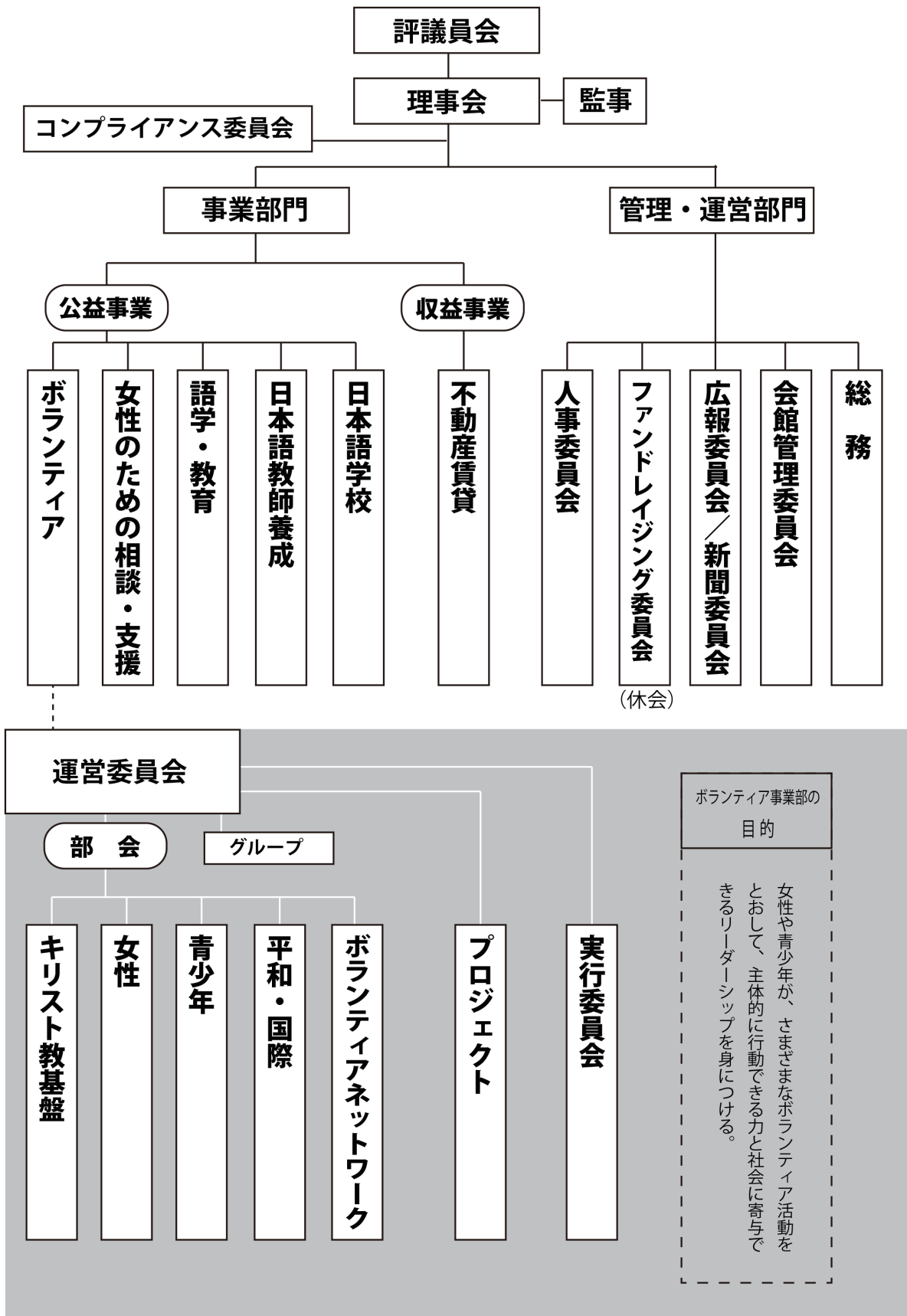
1件の申し立てがあり、委員（顧問弁護士を含む）で調査、協議した結果を理事会に報告した。

9月18日 ハラスメント研修 講師：原 富祐美弁護士

<職員>

総幹事（事務局長）		羽生（磯村）美保子
幹事	ボランティア事業部責任者	岡（吉澤）道子
	女性のための相談・支援事業部責任者	岩田 えり子
	語学・教育事業部責任者	朴 亜紀子
	日本語教師養成事業部責任者	和田 貴子
	日本語学校事業部責任者、会館管理	西田 文乃
	財務責任者、労務、総務、不動産賃貸事業部	吉兼 亜古
	広報・新聞、総合受付、コンプライアンス	下方 夕子
嘱託職員	日本語学校事業部	間宮 由貴江
		本多 淑子(2020年7月～)
	会計、総務	轡田 容子
	日本語教師養成事業部	河瀬 菜緒美
パートタイマー	日本語教師養成事業部	高橋 夏代
		疋田 絵津
		山田 絵夢
		山田 由美子
		米倉 由光
	日本語学校事業部受付	新海 恵
		村上 沙智代
	語学教育事業部	翁長 直美
		成瀬 友美
		堀田 咲良
	総合受付	伊藤 嘉奈子
		井上 圭輝
		野口 智子
		村岡 佐知子
		森 麻貴
		吉崎 伸予
		吉田 多恵子
校長（非常勤）	日本語学校事業部	川瀬 節子
専任講師	日本語学校事業部	神谷（谷山）文子
		久田 かおり

公益財団法人名古屋YWCA組織図



貸借対照表

2021年03月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
(1) 現金預金			
現金	2,978,292	3,772,183	△793,891
普通預金	133,700,719	132,032,323	1,668,396
定期預金	70,000,000	70,000,000	0
現金預金合計	206,679,011	205,804,506	874,505
(2) その他流動資産			
商品	287,666	276,081	11,585
未収金	36,911,918	45,448,808	△8,536,890
前払金	1,417,955	2,145,876	△727,921
繰延税金資産	335,947	933,814	△597,867
その他流動資産合計	38,953,486	48,804,579	△9,851,093
流動資産合計	245,632,497	254,609,085	△8,976,588
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
土地	19,109,000	19,109,000	0
基本財産合計	19,109,000	19,109,000	0
(2) 特定資産			
奨学基金特定資産	10,486,267	11,508,472	△1,022,205
特別修繕引当特定資産	48,500,000	53,900,000	△5,400,000
管理目的保有特定資産	8,856,870	8,333,037	523,833
特定資産合計	67,843,137	73,741,509	△5,898,372
(3) その他固定資産			
建物	261,190,852	267,993,227	△6,802,375
建物付属設備	52,609,269	60,037,106	△7,427,837
構築物	189,049	212,176	△23,127
什器備品	3,610,370	4,948,536	△1,338,166
図書	816,130	816,130	0
繰延資産	0	76,230	△76,230
ソフトウェア	2,802,832	2,149,496	653,336
電話加入権	238,008	238,008	0
保証金	20,000	20,000	0
繰延税金資産	14,009,940	16,011,360	△2,001,420
その他固定資産合計	335,486,450	352,502,269	△17,015,819
固定資産合計	422,438,587	445,352,778	△22,914,191
資産合計	668,071,084	699,961,863	△31,890,779
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	55,014,759	63,795,259	△8,780,500
前受金	25,356,180	27,349,499	△1,993,319
預り金	1,663,239	1,593,398	69,841
賞与引当金	1,555,823	1,504,224	51,599
YWCA勘定	0	0	0
未払法人税等	3,358,700	10,210,600	△6,851,900
流動負債合計	86,948,701	104,452,980	△17,504,279
2. 固定負債			
預り敷金	66,563,540	65,884,040	679,500
特別修繕引当金	48,500,000	53,900,000	△5,400,000
固定負債合計	115,063,540	119,784,040	△4,720,500
負債合計	202,012,241	224,237,020	△22,224,779
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
地方公共団体補助金	0	33,640	△33,640
受取寄附金	4,446,358	3,869,870	576,488
地方公共団体助成金	0	△33,640	33,640
受贈土地	19,109,000	19,109,000	0
指定正味財産合計	23,555,358	22,978,870	576,488
(うち基本財産への充当額)	19,109,000	19,109,000	0
2. 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	442,503,485	452,745,973	△10,242,488
正味財産合計	63,396,779	73,741,509	△10,344,730
負債及び正味財産合計	466,058,843	475,724,843	△9,666,000
	668,071,084	699,961,863	△31,890,779

正味財産増減計算書

2020年04月01日から 2021年03月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益			
特定資産受取利息	7,098	5,708	1,390
特定資産運用益計	7,098	5,708	1,390
受取会費			
正会員受取会費	1,295,000	1,500,000	△205,000
賛助会員受取会費	111,000	124,000	△13,000
受取会友費	47,000	59,000	△12,000
受取会費計	1,453,000	1,683,000	△230,000
事業収益			
受取プログラム	554,170	2,166,423	△1,612,253
受取カウンセリング	2,305,655	3,444,503	△1,138,848
受託事業収益	12,721,293	12,158,260	563,033
子ども学習支援収益	958,984	5,554,474	△4,595,490
受取入学検定料	326,200	390,080	△63,880
受取入学金	1,488,700	2,151,960	△663,260
受取授業料	44,379,867	58,873,033	△14,493,166
受取設備維持料	378,600	397,880	△19,280
受取教材料	2,697,994	3,335,679	△637,685
受取別科申込金	520,000	1,235,000	△715,000
受取別科授業料	15,493,618	19,736,274	△4,242,656
受取教材販売	497,480	841,614	△344,134
貸貸料収益	98,060,670	102,520,438	△4,459,768
室・器具使用料収益	1,317,375	3,971,205	△2,653,830
その他収益	855,858	1,780,714	△924,856
事業収益計	182,556,464	218,557,537	△36,001,073
受取補助金等			
受取補助金等振替額	38,874	0	38,874
受取公共助成金振替額	2,875,062	33,640	2,841,422
受取民間助成金振替額	3,229,190	1,080,000	2,149,190
受取補助金等計	6,143,126	1,113,640	5,029,486
受取寄付金			
受取一般寄付金	865,100	154,000	711,100
受取寄付金振替額	4,311,184	4,873,232	△562,048
受取寄付金計	5,176,284	5,027,232	149,052
雑収益			
受取利息	7,417	6,793	624
雑収益	4,250,638	8,206,988	△3,956,350
雑収益計	4,258,055	8,213,781	△3,955,726
経常収益計	199,594,027	234,600,898	△35,006,871
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	33,323,037	32,914,206	408,831
雑給	8,163,587	7,036,170	1,127,417
福利厚生費	10,438,601	10,979,565	△540,964
賞与引当金繰入額	1,313,382	1,293,710	19,672
特別修繕引当金繰入額	4,562,873	13,716,503	△9,153,630
講師費	38,844,463	43,387,323	△4,542,860
講師交通費	2,084,849	3,216,300	△1,131,451
教材費	1,312,383	2,026,864	△714,481
教材研究費	48,998	76,700	△27,702
図書費	1,760	29,359	△27,599
プログラム費	1,756,324	4,223,594	△2,467,270

正味財産増減計算書

2020年04月01日から 2021年03月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
子ども学習支援費	1,893,543	4,393,717	△2,500,174
広告宣伝費	1,555,355	2,000,944	△445,589
会議費	300,489	311,613	△11,124
旅費交通費	73,157	308,077	△234,920
事務費	501,661	597,337	△95,676
通信費	1,175,659	1,035,951	139,708
資料研修費	57,301	106,890	△49,589
指導者養成費	168,740	341,700	△172,960
関係団体費	32,000	34,000	△2,000
支払名古屋Y機関紙	271,556	268,647	2,909
管理委託費	18,201,724	19,051,457	△849,733
減価償却費	21,372,687	20,220,418	1,152,269
消耗什器備品費	1,244,688	1,715,228	△470,540
修繕費	12,401,474	7,812,105	4,589,369
光熱水料費	3,932,407	5,674,719	△1,742,312
保険料	724,033	813,900	△89,867
租税公課	13,776,585	13,793,869	△17,284
支払寄付金	700,809	677,500	23,309
奨学金	2,474,221	596,329	1,877,892
報酬手数料	6,161,836	5,866,936	294,900
消費税	10,201,649	8,886,167	1,315,482
雑費	1,016,135	998,913	17,222
予備費	0	0	0
事業費計	200,087,966	214,406,711	△14,318,745
管理費			
給料手当	6,807,781	6,117,225	690,556
雑給	661,022	629,286	31,736
福利厚生費	1,907,889	1,728,452	179,437
賞与引当金繰入額	242,441	210,514	31,927
特別修繕引当金繰入額	37,127	83,497	△46,370
会議費	40,324	47,177	△6,853
広告宣伝費	11,586	9,576	2,010
旅費交通費	50,670	99,274	△48,604
事務費	45,287	37,181	8,106
通信費	45,712	59,320	△13,608
指導者養成費	27,090	76,610	△49,520
関係団体費	140,242	126,273	13,969
支払負担金	289,000	336,600	△47,600
支払名古屋Y機関紙	38,794	38,378	416
支払日本Y加盟費	2,129,000	2,085,000	44,000
管理委託費	261,407	254,402	7,005
減価償却費	302,176	285,383	16,793
消耗什器備品費	223,032	212,012	11,020
修繕費	78,796	328,255	△249,459
光熱水料費	57,275	68,266	△10,991
保険料	9,450	8,244	1,206
租税公課	163,515	122,131	41,384
報酬手数料	167,534	124,789	42,745
雑費	53,409	58,740	△5,331
管理費計	13,790,559	13,146,585	643,974
経常費用計	213,878,525	227,553,296	△13,674,771
当期経常増減額	△14,284,498	7,047,602	△21,332,100
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
特定資産取崩益			

正味財産増減計算書

2020年04月01日から 2021年03月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
特別修繕引当資産取崩益	10,000,000	0	10,000,000
総会出席費用引当資産取崩益	0	200,000	△200,000
特定資産取崩益計	10,000,000	200,000	9,800,000
経常外収益計	10,000,000	200,000	9,800,000
(2) 経常外費用			
固定資産除却損			
固定資産除却損	3	6	△3
固定資産除却損計	3	6	△3
経常外費用計	3	6	△3
当期経常外増減額	9,999,997	199,994	9,800,003
税引前当期一般正味財産増減額	△4,284,501	7,247,596	△11,532,097
法人税,住民税及び事業税	3,358,700	10,210,600	△6,851,900
法人税等調整額	2,599,287	△3,987,373	6,586,660
当期一般正味財産増減額	△10,242,488	1,024,369	△11,266,857
一般正味財産期首残高	452,745,973	451,721,604	1,024,369
一般正味財産期末残高	442,503,485	452,745,973	△10,242,488
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等			
受取地方公共団体補助金	38,874	33,640	5,234
受取地方公共団体助成金	2,875,062	0	2,875,062
受取民間助成金	3,229,190	1,080,000	2,149,190
受取補助金等計	6,143,126	1,113,640	5,029,486
受取寄付金			
受取寄付金	4,887,672	5,410,065	△522,393
受取寄付金計	4,887,672	5,410,065	△522,393
一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	△10,454,310	△5,986,872	△4,467,438
一般正味財産への振替額計	△10,454,310	△5,986,872	△4,467,438
当期指定正味財産増減額	576,488	536,833	39,655
指定正味財産期首残高	22,978,870	22,442,037	536,833
指定正味財産期末残高	23,555,358	22,978,870	576,488
III 正味財産期末残高	466,058,843	475,724,843	△9,666,000

